

中央区 子ども・子育て支援新制度に おける利用希望把握調査 調査票（案）

〈就学前児童用〉

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名のお子さんの保護者の方に回答のご記入をお願いいたします。
2. ご記入は、黒または青の鉛筆やボールペンでお願いいたします。
3. 問 1 から順に質問ごとに用意した回答項目の中から、あてはまるものの番号を○で囲んでください。「その他（ ）」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 一部の方だけに答えていただく質問もありますが、その場合は矢印（→）で示したり、説明文がありますので、該当する方のみお答えください。
5. ご記入いただきました調査票は、●月●●日（●）までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください（切手は不要です）。

中央区 福祉保健部 子育て支援課 保育運営係

電 話：03-3546-5681

FAX：03-3546-2129

e-メール：ko-sien_16-01@city.chuo.lg.jp

（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問12までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問12以降においては保育施設や幼稚園等で実施する幼児期の学校における教育の意味で用いています

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

京 橋 1. 八重洲二丁目、京橋

2. 銀座

3. 新川

4. 八丁堀、新富、入船、湊、明石町

5. 築地、浜離宮庭園

日本橋 6. 馬喰町、小伝馬町、大伝馬町、横山町、東日本橋

7. 本石町、本町、室町、茅場町、兜町

8. 八重洲一丁目、日本橋

9. 小舟町、人形町、小網町、蛸殻町、浜町、箱崎町、中洲、富沢町、
久松町、堀留町

月 島 10. 佃

11. 月島

12. 勝どき

13. 豊海町

14. 晴海

2. 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成 年 月生まれ } (例) 平成 年 月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

3. あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問7 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。1から6のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。併せて、□に数字の記入をお願いします。
【母子家庭の場合は記入は不要】

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である

*フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

⇒ 1週当たりの平均的な「就労日数」、1日当たりの平均的な「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □日 1日当たり □□時間

⇒ 平均的な家を出る時間帯と帰宅時間帯をお答えください。

家を出る時間 □□時台 帰宅時間 □□時台

（例）08時、18時のように、**24時間制**でお答えください。

3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

*パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

⇒ フルタイムへの転換希望はありますか。

- ① フルタイムへの転換希望があり、具体的な就職活動を行っている、または職が決まっている
② フルタイムへの転換希望はあるが、今のところ具体的な就職活動は行っていない
③ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
④ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

⇒ 就労したいという希望はありますか。

- ① 子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）
② 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい
③ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり □日 1日当たり □□時間

問8 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。1から6のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。併せて、□に数字の記入をお願いします。
【父子家庭の場合は記入は不要】

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である

*フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

⇒ 1週当たりの平均的な「就労日数」、1日当たりの平均的な「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □日 1日当たり □□時間

⇒ 平均的な家を出る時間帯と帰宅時間帯をお答えください。

家を出る時間 □□時台 帰宅時間 □□時台

（例）08時、18時のように、**24時間制**でお答えください。

3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

*パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

⇒ フルタイムへの転換希望はありますか。

- ① フルタイムへの転換希望があり、具体的な就職活動を行っている、または職が決まっている
② フルタイムへの転換希望はあるが、今のところ具体的な就職活動は行っていない
③ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
④ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

⇒ 就労したいという希望はありますか。

- ① 子育てや家事などに専念したい（今のところ就労の予定はない）
② 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
③ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり □日 1日当たり □□時間

4. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 認定こども園 |
| 4. 幼稚園 | 5. 保育所 | 6. その他 |
| () | | |

問10 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|------------|
| 1. 日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる | } ⇒問10-1 へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒問10-2 へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒問11 へ | |

問10で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 祖父母・兄弟等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母・兄弟等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母・兄弟等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母・兄弟等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問11-1へ

2. いない／ない ⇒ 問12へ

問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者

2. 祖父母・兄弟等の親族

3. 友人や知人

4. 近所の人

5. 子ども家庭支援センター・
児童館

6. 子育て支援を行う
NPO等

7. 保健所・保健センター

8. 保育所・認定こども園の保育士

9. 幼稚園教諭

10. 民生・児童委員

11. かかりつけの医師

12. 福祉センター

13. 教育センター

14. その他（ ）

5. あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問12-1に示した事業が含まれます。

問12 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

◆ 1. 利用している ⇒ 問12-1 へ 2. 利用していない ⇒ 問12-6 へ

問12-1～問12-4は、問12で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
2. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
3. 認証保育所（東京都が独自に認証した保育所）
4. 家庭福祉員（保育ママ：保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
5. 事業所内保育施設（企業等が、主に従業員用に運営する施設）
6. その他の認可外の保育施設（ベビーホテルなど）
7. 幼稚園（通常のがん園時間の利用）
8. 幼稚園の預かり保育（通常のがん園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
9. 居宅訪問型保育（ベビーシッター：保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
11. 子ども家庭支援センターなどの一時預かり保育の定期的利用
12. その他（ ）

問12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠内に一字）。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。※幼稚園の利用と幼稚園の預かり保育の利用を希望する場合は通しでの時間をご記入ください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間（時～時）

(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間（時～時）

問 12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」もしくは「2.」の①～⑥のいずれかに○をつけてください。

1. 中央区
2. 他の区、市等 → ①港区 ②千代田区 ③台東区 ④墨田区
⑤江東区 ⑥その他（ ）

問 12-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問 12-1 で「8. 幼稚園の預かり保育」を利用しているに○をつけた方にうかがいます。

問 12-5 父親・母親のいずれかが就労している方にうかがいます。現在の幼稚園における預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業）の利用状況について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している
2. 現在、1週当たり1、2日程度預かり保育を利用している
3. 現在、特に利用している保育事業等はない

問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-6 利用していない理由は何ですか。

理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母または父が保育しているため、利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

すべての方にかがいます。

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業を次ページの【A 群：希望する教育・保育事業】から選んで枠内に番号を記入してください。また、その事業を希望する上で重視する条件について、当てはまる条件を【B 群：事業を希望する上で重視する条件】から3つまで選んで枠内に番号を記入してください。あわせて、1週あたりの利用希望日数、1日あたりの利用希望時間もご記入ください。

A 群：希望する教育・保育事業（希望事業すべて）	B 群：事業を希望する上で重視する条件（3つまで）			1週あたりの利用希望日数	1日あたりの利用希望時間
				日	時間

【A 群：希望する教育・保育事業】

1. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）
2. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
3. 認証保育所（東京都が独自に認証した保育所）
4. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
5. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
6. その他の認可外の保育施設
7. 幼稚園（通常就園時間の利用）
8. 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
9. 居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. 一時預かり保育
13. その他（ ）

【B 群：事業を希望する上で重視する条件】（重視する条件を3つまでお選びください）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 教育・保育の内容や方針が希望にあう | 7. 保育料が適切である |
| 2. 教員・保育者の質が高い | 8. 親の負担の程度が軽い |
| 3. 施設や設備が充実している | 9. 親が運営・行事に関わる機会が多い |
| 4. 園庭がある | 10. 自宅からの距離が近い |
| 5. 保育時間が利用希望にあう | 11. 利用する駅や職場からの距離が近い |
| 6. 認可されている施設である | 12. その他（ ） |

問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 中央区

2. 他の区、市等

問 13-1 で「2. 他の区、市等」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-2 他の区、市等を利用したい理由は何ですか。

理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の区、市等にある事業所の方が近いから
2. 保育・教育の事業に空きがあるから
3. 保護者の勤務場所に近い事業所を利用したいから
4. 経済的な理由から
5. 延長・夜間等の時間帯の条件が合う事業があるから
6. 事業の質や場所など、納得できる事業があるから
7. その他（

）

6. あて名のお子さんの地域の子育て支援事業等の利用状況についてうかがいます。

問 14 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場「あかちゃん天国」）または児童館における乳幼児クラブ事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 子育て交流サロン「あかちゃん天国」

1 週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. 乳幼児クラブ

1 週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問 15 問 14 のような地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 利用していないが、今後利用したい

1 週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 週当たり 更に回 もしくは 1ヶ月当たり 更に回 程度に増やしたい

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑳の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B 利用したこと がある		C 今後 利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①保健所・保健センターの離乳食、子育て支援などの講習会	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健所・保健センターのプレママ教室（母親学級）、パパママ教室（両親学級）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③保健所・保健センターのプレママサロン	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④保健所・保健センターの乳幼児健康相談（フリー乳健）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保健所・保健センターのママのこころの相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥保健所・保健センターの子育て相談、発達相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦子ども家庭支援センターや児童館の子育て交流サロン「あかちゃん天国」	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧子ども家庭支援センターや認定こども園の一時預かり保育	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパー	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩子ども家庭支援センターの子育て支援講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪子ども家庭支援センターの子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫中央区地域家庭教育推進協議会が開催する家庭教育学習会	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑬教育センターの教育相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑭区のホームページの子育て情報	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑮トワイライトステイ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑯子どもショートステイ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑰緊急一時保育援助事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑱病児・病後児保育	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑲赤ちゃん・ふらっと	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑳妊婦健診	はい	いいえ	はい	いいえ	—	—
㉑新生児訪問指導	はい	いいえ	はい	いいえ	—	—
㉒養育支援訪問事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

7. あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

問 17 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
4. 休みの期間中、一定期間利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

問 18 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. ふだん済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

8. あて名のお子さんの病気やケガの際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 12 で 1 に ○ をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 20 にお進みください。

問 19 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などの通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 19-1 へ

2. なかった ⇒ 問 20 へ

問 19-1 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一枠に一字）。

1 年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	<u>□□</u> 日
イ. 母親が休んだ	<u>□□</u> 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<u>□□</u> 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<u>□□</u> 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<u>□□</u> 日
カ. ベビーシッターを利用した	<u>□□</u> 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	<u>□□</u> 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<u>□□</u> 日
ケ. その他	<u>□□</u> 日

⇒問 19-2 へ

⇒問 19-5 へ

問 19-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、入室前診断が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 19-3 へ

問 19-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 19-3 「利用したいとは思わない」理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応できるので問題ない
7. その他（)
8. 特に理由はない

⇒ 問 20 へ

問 19-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ.」から「ケ.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 20 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 19-5 へ

問 19-4 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 19-5 「休んで看ることは非常に難しい」理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（)

9. あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 20 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□□日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）	□□□日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□□□日
4. トワイライトステイ（保護者が仕事等の理由で夜間に一時的に子どもを預かる事業）	□□□日
5. ベビーシッター	□□□日
6. その他（ ）	□□□日
7. 利用していない	□□□日

問 20 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 事業があることを知らなかった
2. 特に利用する必要がない
3. 利用したい事業が地域にない
4. 地域の事業の質に不安がある
5. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料がわからない
8. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
9. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
10. その他（ ）

問 21 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時的な預かり事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい ⇒問 21-1 ハ	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	ウ. 不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	エ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 22 ハ		

問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等で子どもを保育する事業
2. 問 20 の1 から4 の事業（○をつけてください）
 1. 一時預かり
（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）
 2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）
 3. ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業）
 4. トワイライトステイ（保護者が仕事等の理由で夜間に一時的に子どもを預かる事業）
4. その他（ ）

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<u>□□</u> 泊
	イ. 子どもショートステイ（児童養護施設等で短期間子どもを預かる事業）を利用した	<u>□□</u> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<u>□□</u> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<u>□□</u> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<u>□□</u> 泊
	カ. その他（ ）	<u>□□</u> 泊
2. なかった		

10. あて名のお子さんが主に幼稚園の年長クラスや保育園の5歳児クラスに在籍している（来年度小学校に就学予定）場合に、お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 23 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間の過ごし方をどのように考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

学童クラブ

区内に居住または、区内の小学校に在籍している1年生から4年生までの児童（心身に障害を有する児童で、集団育成指導が可能と認められる方は6年生まで）で、放課後帰宅しても、保護者の仕事や疾病等の理由により、家庭で適切な保護育成を受けられない児童を危険のないよう保護し、生活指導を行うものです。

1. 自宅（近所での友人との遊びを含む）	週 <u>□□</u> 日くらい
2. 祖父母宅や親戚宅	週 <u>□□</u> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <u>□□</u> 日くらい
4. 子どもの居場所「プレディ」（放課後子ども教室）※1	週 <u>□□</u> 日くらい
5. 学童クラブ	週 <u>□□</u> 日くらい →下校時から <u>□□</u> 時まで
6. 児童館 ※2	週 <u>□□</u> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <u>□□</u> 日くらい
8. 学校の放課後活動（ドッジボールクラブ等）など	週 <u>□□</u> 日くらい

※1 子どもの居場所「プレディ」（放課後子ども教室）

その小学校に在籍する全児童を対象に、子どもたちの健全育成を図るため、保護者の就労にかかわらず、放課後や土曜日などに学校施設内で児童が安全に安心して過ごせる子どもの居場所です。

※2 児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「5.」に回答

問 24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅（近所での友人との遊びを含む）	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や親戚宅	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい
4. 子どもの居場所「プレディ」（放課後子ども教室）	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい
5. 学童クラブ	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 児童館 ※	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい
8. 学校の放課後活動（ドッジボールクラブ等）など	週 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい

※ 児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「5.」に回答

問 23 または問 24 で「4. 子どもの居場所「プレディ」「5. 学童クラブ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。⇒「4.」「5.」以外の方は問 26 へ

問 25 あて名のお子さんについて、土曜日やお子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「プレディ」、「学童クラブ」の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい
3. 利用する必要はない

利用したい時間帯
} ⇒ □□時から □□時まで

(2) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい
3. 利用する必要はない

利用したい時間帯
} ⇒ □□時から □□時まで

問 23 または問 24 で「4. 子どもの居場所「プレディ」」に○をつけた方にうかがいます。

問 25-1 「子どもの居場所「プレディ」を利用したい」理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 就労していないが、子どもの学習や遊びの環境として良いと思う
2. 事業実施場所が自宅に近い等、便利だから
3. 現在就労している
4. 就労予定がある／求職中である
5. そのうち就労したいと考えている
6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障害を持っている
8. 学生である／就学したい
9. その他 ()

問 23 または問 24 で「5. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 25-2 「学童クラブを利用したい」理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障害を持っている
6. 学生である／就学したい
7. その他（)

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 26 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)</div>	3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)</div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 雇用形態等のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 26-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 26-3 へ
- 2. 現在も育児休業中である（復職予定） ⇒ 問 26-9 へ
- 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

(2) 父親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 26-3 へ
- 2. 現在も育児休業中である（復職予定） ⇒ 問 26-9 へ
- 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 26-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか？あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

(2) 父親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 26-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際 歳 ヶ月 希望 歳 ヶ月

(2) 父親

実際 歳 ヶ月 希望 歳 ヶ月

問 26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、何歳までの育児休暇を取得したいですか。
□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

歳 ヶ月

(2) 父親

歳 ヶ月

問 26-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 26-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 26-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

①母親

1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

②父親

1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

問 26-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 26-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事がいそがしかった
3. 短時間勤務にすると給与が減給され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事がいそがしかった
3. 短時間勤務にすると給与が減給され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

問 30 こどもの育ちについて、どのような相談先が必要だと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1. 気軽に相談できる敷居の低い相談先 | 2. 専門的な知識が豊富な相談先 |
| 3. 聞きたいときにいつでも対応してくれる相談先 | 4. 保育園・幼稚園・学校と連携し対応してくれる相談先 |
| 5. 小学校入学後や大人になったときなど子どもの将来を見据えて適切なアドバイスをしてくれる相談先 | 6. 特にない |
| 7. その他（ | ） |

問 31 区ではこどもの発達の悩みや心配について、現在もいろいろな所属で相談を行っていますが、相談の中核としてコーディネート機能を持ち、ライフステージに合わせて継続した支援を実施していく事業を検討していますが、どのように思いますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 実施すべき | 2. 必要ない |
| 3. その他（ | ） |

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
ご記入が済みましたらお手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、*月*日（*）までにご投函ください。